

# 平成 24 年度太平洋・瀬戸内海・日本海縦断技術士会 in 高知

高知県技術士会 代表幹事 右城 猛

## 1. はじめに

「太平洋・瀬戸内海・日本海縦断技術士会 in 高知」が開催されるのは、昨年 9 月に「持続可能な社会づくりに向けた取り組み」をテーマに開催された岡山大会に次いで 2 回目である。

香川県技術士会、岡山県技術士会、島根県技術士会によって平成 20 年から「瀬戸内・日本海縦断県技術士会」が開催されていたが、昨年从高知県技術士会と鳥取県技術士会が加わり、名称も現在のものになった。

岡山大会の懇親会は、鷲羽山の上の「せとうち児島ホテル」に会場を移し、雲海の間で開催されたが、窓の外一面に美しい瀬戸内海の景色が広がり感動したことであった。

高知大会では、他県技術士会の皆様に、高知の一番良い時期に来ていただき、一番良いところを見て、一番よい話を聞いていただきたと考え、高知県技術士会の幹事一同で計画を練った。

## 2. 講演会

講演会は、8 月 9 日 13 時よりサンピアセリーズ 3F のマリンホールを会場に開催した。参加者は、各県技術士会の会員に一般市民 20 名を含めた 69 名であった。

8 月 9 日は高知よさこい祭りの前夜祭、10 日と 11 日は祭りの本番の日であり、高知の街が 1 年で一番活気づくときである。

昨年の 3.11 地震による福島原発事故以来、自然エネルギーが注目されているが、高知県では梶原町などで早くから風力、小水力、太陽光などの自然エネルギーの利用に取り組んでいる。

最近、歴史ブームになっているが、歴史上の人物で人気ダントツに高いのは、坂本龍馬である。歴史が好きな女性・歴女の間で人気が高いのは、石田三成、直江兼続に次いで長宗我部元親である。

このようなことから、講演のテーマは、自然エネルギー、長宗我部元親、坂本龍馬に決め、その分野では名が通った高知県小水力利用推進協議会の篠和夫会長、梶原町の矢野富夫町長、高知県歴史民俗資料館の宅間一之館長、坂本龍馬記念館の森健志郎館長の 4 名に講師をお願いした。



開会の挨拶をする筆者



司会をされる高知県技術士会の森直樹幹事

### (1) 小水力発電



講演をされる篠和夫先生

篠和夫先生は、高知県小水力利用推進協議会の会長で、高知大学名誉教授。「小水力発電」と題し、水力発電の歴史、自然エネルギー、固定価格買取制度（FIT）、地域における小水力発電の類型、小水力発電の利点、クリアすべき問題点（河川法と事業主体形成）、発電のいくつかの例、高知における取組について説明をしていただいた。

## （２）自然エネルギー等について



講演をされる矢野富夫梶原町長

梶原町の矢野富夫町長は、「自然エネルギー等について」と題して、梶原町の概要、梶原町のまちづくり、新エネルギーへの取り組み、環境の町ゆすはらの実積等について紹介された。

梶原町は、四国のチベットと言われるほどの僻地であったが、最近では職員や町民が一丸となっていろいろと先進的な取り組みをされ、元気な美しい町になっていて、全国的に注目されている。

矢野町長のお話を聴きながら、講演依頼で梶原町役場にお邪魔したとき、各課の壁に、「傾聴 学習 対話」と書いた紙が貼られていたことを思い出していた。

矢野町長の自治経営の考え方は、企業経営にも通じるものがあると思った。

## （３）長宗我部元親

高知県歴史民俗資料館の宅間一之館長は「長宗我部元親」と題して、詳細に調べられた「長宗我部氏関係年表」（山本大氏作成年表を一部改訂）を示しながら講演された。



講演をされる宅間一之氏

館長の講演を聞いて驚いたのは、「本能寺の変」は、長宗我部元親と明智光秀が密約していた可能性があるということが、最近の研究によって明らかになってきたという話。

長宗我部元親は、明智光秀の一番弟子であった斎藤利三の妹を妻にしている。明智光秀と近かったと考えるのが妥当である。また、「本能寺の変」があった1582年6月2日は、織田信長が四国討伐の出発日に決めていた日である。これらのことから、二人が密約していた可能性が高い。

もう一つは、元親が四国制覇を図るため、徳島や香川県に攻め込み、神社仏閣を焼き払い、五万の人を殺したという話は、二次資料に基づくものであり、信憑性に乏しいと言うこと。

当時の兵士は一領具足（半農半兵）であり、戦争は農閑期にしか行われなかったこと、戦国時代の騎馬は、日本古来の馬で、胴長短足のポニーみたいな馬であり、競走馬のように乗って颯爽と駆け回ることはできなかった、当時の武将、特に元親は信仰心が厚かったこと、神社仏閣を焼き払ったのは織田信長ぐらいであることなどから、信憑性に乏しいと言える。

元親と光秀の密約説が証明されると、長宗我部元親の人气がさらに上がり、NHKの大河ドラマになることも夢ではなくなる。

宅間一之館長の講演を拝聴したのは今回が初めてであった。話の中にどんどん引き込まれていき、1時間が合っている間に過ぎていた。

#### (4) 坂本龍馬を取り巻く最近の話題



講演をされる森健志郎氏

坂本龍馬記念館の森健志郎館長からは、「坂本龍馬を取り巻く最近の話題」と題して講演をいただいた。

龍馬記念館にとって、H22年度のNHK大河ドラマ「龍馬伝」の影響は大きかったようで、それまで入館者数は年間12万人であったのが、H21年に龍馬伝が話題になると24万人に増え、H22年度は44万人を超えた。福山雅治の効果は絶大であった。

龍馬記念館の特徴はリピーターが多いこと。3回や5回ではリピーターのうちに入らない。10回以上来館し、入学、卒業、就職、結婚、退職など人生の節目、節目に来て龍馬に祈願や報告をされている。

来館者による「龍馬への手紙」を読むと、3.11大地震を境に大きく変わった。以前は自分のことや家族のことであったが、地震以後は人の役に立ちたい、日本のためになりたいという内容が多くなった。

平成23年に、龍馬記念館20周年記念事業として、会館正面に龍馬像を建てることになり、どのような龍馬像にするのか全国に募集した。たくさんいただいた中から、大分の方から提案があったシェイクハンド像に決めた。

彫刻家に製作依頼すると、最初は断られた。彫刻は離れて鑑賞するものであり、触るものではないというのが理由。しかし、龍馬は特別ということで引き受けてもらえた。シェイクハンド龍馬像は、3人の彫刻家の先生のコラボである。



講演会の会場風景

大政奉還ができたのは、勝海舟、坂本龍馬、ジョン万次郎の3人が幕末に出会えたためである。勝海舟は、身分に関係なく良い意見であれば誰の意見でも公平に採用すべきと考えていた。龍馬は身分差別のない平等な社会を作りたいと願っていた。ジョン万次郎は、アメリカで民主主義や男女平等の概念に触れる一方、人種差別を実際に経験していた。

この三人が出会ったことで歴史が動いた。龍馬がすごいのは、誰も藩のことしか考えなかったあの時代に、龍馬だけは日本のことを考えていた。

昨年、龍馬記念館20周年記念フォーラムをアメリカで行った。そこで、嶺北高校生の大石すみれさんが、「過疎化の進む古里、嶺北をもっともっと元気にしたい、そのために、勇気をもって外の世界に一步を踏み出し、そこから活性化のヒントをいっぱい持って帰りたい。嶺北の龍馬になりたい」と英語でスピーチされた。そのスピーチが、ハワイのプナホウスクールの理事長の心を打ち、この夏に理事長の自宅にホームステイして短期留学することになった。この学校は、オバマ大統領の出身校でもあるハワイの名門校である。

このように世界の人との出会い、つながりが大切である。

今年、坂本龍馬財団設を設立した。アメリカニューヨークに「龍馬スピリッツ世界発信基地」となる「ニューヨーク龍馬(RYOMA)ミュージアム」を造ることが当面の目標である。

台湾の元総統李登輝も熱烈な龍馬ファンである。今年の初め、新聞で李登輝が大腸がんの手術



を受けたことを知り、見舞いに行きたいと李登輝事務所に電話をかけたところ、もうすっかり回復したので見舞いは必要ない。快気祝いに来て欲しいという話であったので、先日、龍馬財団の 35 名で台湾へ行ってきた。

李登輝は、あと数年の人生だが残された命を人民のために捧げる。今、日本にも台湾にも必要なのは坂本龍馬であると話していた。

高知県技術士会で坂本龍馬に関する講演を森健志郎館長にお願いするのは、今回で 3 回目になる。これまでに聞いた話もあったが、森館長の話術が巧みなため何度聞いても感動させられる。



閉会の挨拶をする高知県技術士会の山本克彦副代表幹事

### 3. 懇親会



高知県技術士会の森直樹幹事が、懇親会後の予定を説明。

2F のコーラルホールに移動し、17 時 20 分より懇親会を行った。

懇親会に先立ち、高知県技術士会の右城代表幹

事が開会の挨拶をした。その中で、鳥取県技術士会から鳥取県の地酒「ねずみ男純吟」(720ml)の日本酒 2 本の差し入れがあったこと、岡山県技術士会から会報の贈呈があったという報告があった。

高知県技術士会の山本克彦副代表幹事の乾杯で懇親会を始めた。



岡山県技術士会の木口誠二会長の近況報告。日本技術士会中国本部としてはいち早く岡山県支部を立ち上げるということになったという報告があった。



島根県技術士会の林秀樹会長による近況報告



鳥取県技術士会の伊藤徹会長からは、今年日韓技術士会が名古屋で開催されるが、二年後には松山で開催される。名古屋は派手にすると思うが、質素にすればよいという提言があった。





香川県技術士会の武山正人会長による近況報告



近況報告を聞く参加者



次回の開催県に決まった香川県の武山会長による中締め

#### 4. 二次会

はりまや橋公園東に展示されている明治 41 年に造られた鉄製のはりまや橋、はりまや橋公園の西側と東側を結ぶ地下通路の東側地下広場に保存されている昭和 40 年に造られた播磨屋橋の木製高欄、はりまや橋公園西にある平成 10 年に造られた播磨屋橋を順番に見学しながら中央公園の演舞場に行き、よさこい鳴子踊りを見物。見物

人が多くてステージ上の踊りが良く見えなかった。残念。

唐人町にある料亭「濱長」で、芸奴と一緒に、可杯(べくはい)など土佐のお座敷遊びを楽しむ。



地下通路に保存されている播磨屋橋の高欄



平成 10 年に造られた播磨屋橋



濱長でお座敷遊び

【2012.8.11 記】